



平成22年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成21年 8 月10日

上 場 会 社 名 株式会社 日新 上場取引所 東証第一部、大証第一部
 コー ド 番 号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>
 代 表 者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 筒井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 坂口 法久 TEL (03)3238—6631
 四半期報告書提出予定日 平成21年 8 月13日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成21年 4 月 1 日～平成21年 6 月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年 3 月期第 1 四半期	37,075 (△33.3)	△517 —	△345 —	△718 —
21年 3 月期第 1 四半期	55,555 —	1,523 —	1,800 —	1,210 —

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年 3 月期第 1 四半期	△7. 19	—
21年 3 月期第 1 四半期	12. 11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年 3 月期第 1 四半期	99,087	36,476	36.3	360. 11
21年 3 月期	89,987	36,148	39.6	356. 87

(参考) 自己資本 22年 3 月期第 1 四半期 35,998百万円 21年 3 月期 35,675百万円

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金				
(基準日)	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年 3 月期	—	4. 00	—	4. 00	8. 00
22年 3 月期	—				
22年 3 月期(予想)		3. 50	—	3. 50	7. 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年 3 月期の連結業績予想 (平成21年 4 月 1 日～平成22年 3 月31日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第 2 四半期連結累計期間	79,900 (△28.7)	△690 —	△620 —	△870 —	△8. 70
通 期	180,500 (△8.8)	1,960 (△44.4)	1,570 (△55.0)	770 (△49.1)	7. 70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- 〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------|--------------|
| 22年3月期第1四半期 | 101,363,846株 | 21年3月期 | 101,363,846株 |
|-------------|--------------|--------|--------------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|------------|--------|------------|
| 22年3月期第1四半期 | 1,398,180株 | 21年3月期 | 1,396,020株 |
|-------------|------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数 (四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 22年3月期第1四半期 | 99,966,641株 | 21年3月期第1四半期 | 99,983,388株 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当期の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融危機に端を発した世界同時不況の様相が続き、先行き不透明な状況で推移しました。日本においても、底入れの兆しはあるものの、設備投資の抑制や在庫調整に伴う荷動きの低迷など、厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、グローバル・ネットワークの活用によるグループ一体となった国際物流事業の積極的展開により、グローバル ロジスティクスサービス プロバイダーとして取り組みを推進する一方、コスト管理の徹底など収益力の強化に努めました。

国内では関西地区における物流事業の拡大に向け「堺ロジスティクスセンター」を4月より稼働させ、海外においては、中国・アジア地域や中東欧地区での事業基盤の強化に努めるなど、より質の高い最適物流サービスの提供に努めました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比33.3%減の37,075百万円となりました。利益につきましては、営業利益は517百万円の損失、経常利益は345百万円の損失となり、四半期純利益は718百万円の損失となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績

① 国際物流事業

海上貨物事業では、輸出は自動車関連貨物、電機・電子部品、化学品などの取り扱いが低調となりました。航空貨物事業では、取り扱い貨物の一部に回復の兆しがあるものの、主力の自動車関連貨物、電機・電子部品等を中心に、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、連結売上高は20,902百万円、連結営業利益は239百万円となりました。

② 国内物流事業

自動車運送事業は、潤滑油などの石油化学製品輸送が需要低迷により低調となりました。倉庫事業および構内作業では、化学品などの取扱いは依然低調に推移し、食品等の取り扱いも横ばいとなりました。

この結果、連結売上高は8,386百万円、連結営業利益は25百万円となりました。

③ 旅行業及びその他の事業

旅行業及びその他の事業では、旅行業において、主力の渡航業務が経営環境の悪化に伴う企業の出張自粛や新型インフルエンザの影響などにより取り扱いが低迷するなど、厳しい状況となりました。

この結果、連結売上高は7,786百万円、連結営業損失は89百万円となりました。

(3) 所在地別セグメントの業績

① 日本

海上貨物事業では、輸出は欧州、メキシコ向け自動車部品の一時的な取り扱い増加などありましたが、北米向け自動車および関連貨物などの取り扱いが引き続き低調となりました。輸入についても生活関連雑貨や家具、衣料品の一部が堅調に推移したものの、全体的には依然低迷が続き、取扱量は伸び悩みました。

航空貨物事業では、輸出は化学品の一部が堅調に推移し、輸入で園芸関係の花苗の取り扱いの活発化などありましたが、全体的には前年同期を大幅に下回る状況となりました。

この結果、連結売上高は32,341百万円、連結営業損失は471百万円となりました。

② 北米

北米では、航空貨物事業で生鮮品の取り扱いなどが好調に推移したものの、主力の自動車関連や電子部品の取り扱いが大幅に減少し、市況の低迷から米国・メキシコ間のボーダー輸送の取り扱いも低調となりました。

この結果、連結売上高は1,761百万円、連結営業損失は56百万円となりました。

③ その他の地域

欧州では、生産調整が続いた影響から取扱いは大幅に減少となり、航空貨物事業においては海上輸送へのシフトが続くなど、厳しい状況となりました。中国・東南アジアでは、中国においては海上貨物輸送が比較的堅調となりましたが、航空貨物の取り扱いが低調となり、東南アジアでも在庫調整の影響を受け減少となりました。

この結果、連結売上高は2,971百万円、連結営業損失は0百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、株式市場価額の上昇による投資有価証券の増加、リース契約による有形固定資産の取得などにより、前連結会計年度末に比べ9,100百万円増加の99,087百万円となりました。

負債は、リース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ8,772百万円増加の62,611百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上などにより利益剰余金が減少しましたが、株式市場価額の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ328百万円増加の36,476百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費及び売上債権の減少などによる資金増加に対し、税金等調整前四半期純損失及び仕入債務の減少などによる資金減少を控除した結果、1,318百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより666百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより721百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加し、13,509百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月11日の決算短信にて公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年8月10日に発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,444	13,272
受取手形及び売掛金	21,654	23,624
有価証券	191	151
原材料及び貯蔵品	38	56
その他	4,349	3,936
貸倒引当金	△241	△222
流動資産合計	39,436	40,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,072	41,187
減価償却累計額	△26,960	△26,463
建物及び構築物 (純額)	23,111	14,724
機械装置及び運搬具	9,217	9,063
減価償却累計額	△7,671	△7,584
機械装置及び運搬具 (純額)	1,545	1,479
土地	11,922	11,890
その他	3,664	3,456
減価償却累計額	△2,567	△2,411
その他 (純額)	1,096	1,044
有形固定資産合計	37,676	29,139
無形固定資産		
その他	4,173	4,260
無形固定資産合計	4,173	4,260
投資その他の資産		
投資有価証券	13,670	11,869
その他	4,617	4,426
貸倒引当金	△486	△527
投資その他の資産合計	17,802	15,768
固定資産合計	59,651	49,167
資産合計	99,087	89,987

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,774	12,860
短期借入金	13,427	13,239
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	173	261
賞与引当金	943	1,482
その他	5,703	5,500
流動負債合計	33,122	33,444
固定負債		
社債	900	900
長期借入金	13,645	14,155
退職給付引当金	1,805	1,816
役員退職慰労引当金	111	121
その他	13,025	3,400
固定負債合計	29,488	20,394
負債合計	62,611	53,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,380	4,380
利益剰余金	24,474	25,593
自己株式	△312	△312
株主資本合計	34,639	35,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,975	1,935
繰延ヘッジ損益	△16	△12
為替換算調整勘定	△1,600	△2,005
評価・換算差額等合計	1,359	△83
少数株主持分	478	473
純資産合計	36,476	36,148
負債純資産合計	99,087	89,987

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
売上高	55,555	37,075
売上原価	47,596	32,026
売上総利益	7,958	5,048
販売費及び一般管理費	6,435	5,566
営業利益又は営業損失 (△)	1,523	△517
営業外収益		
受取利息	20	13
受取配当金	142	97
持分法による投資利益	87	44
為替差益	117	112
その他	68	56
営業外収益合計	436	324
営業外費用		
支払利息	140	138
その他	18	13
営業外費用合計	159	151
経常利益又は経常損失 (△)	1,800	△345
特別損失		
減損損失	—	31
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損	15	7
特別損失合計	19	49
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,781	△394
法人税、住民税及び事業税	362	56
法人税等調整額	197	264
法人税等合計	560	321
少数株主利益	9	2
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,210	△718

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,781	△394
減価償却費	628	791
減損損失	—	31
のれん償却額	60	—
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	7
持分法による投資損益 (△は益)	△87	△44
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△30
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	△9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△112	△25
受取利息及び受取配当金	△162	△111
支払利息	140	138
売上債権の増減額 (△は増加)	△8	2,287
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△895	△498
仕入債務の増減額 (△は減少)	△138	△321
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	307	144
その他	△624	△539
小計	857	1,435
利息及び配当金の受取額	202	149
利息の支払額	△81	△88
法人税等の支払額	△612	△177
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△372	△402
無形固定資産の取得による支出	△289	△44
投資有価証券の取得による支出	△29	△9
関係会社株式の取得による支出	△35	—
貸付けによる支出	△39	△38
その他	43	△171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△722	△666
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	242	496
短期借入金の返済による支出	△400	△494
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△761	△341
配当金の支払額	△350	△400
その他	△34	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△605	△721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△338	230
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,300	160
現金及び現金同等物の期首残高	11,865	13,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,565	13,509

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)

	国内物流事業 (百万円)	国際物流事業 (百万円)	旅行業及び その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,625	32,521	13,407	55,555	—	55,555
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	979	205	119	1,303	(1,303)	—
計	10,604	32,726	13,527	56,858	(1,303)	55,555
営業利益	378	1,869	150	2,398	(875)	1,523

(注) 1. 事業区分は、役務の種類・類似性を考慮して国内物流事業、国際物流事業、旅行業及びその他の事業に区分しております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 国内物流事業・・・自動車運送、倉庫、構内作業他
- (2) 国際物流事業・・・国際一貫輸送、港湾運送、航空貨物輸送、海外物流他
- (3) 旅行業及びその他の事業・・・旅行業、不動産業他

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)

	国内物流事業 (百万円)	国際物流事業 (百万円)	旅行業及び その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,386	20,902	7,786	37,075	—	37,075
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	683	146	47	878	(878)	—
計	9,070	21,049	7,834	37,953	(878)	37,075
営業利益又は営業損失(△)	25	239	△89	174	(692)	△517

(注) 1. 事業区分は、役務の種類・類似性を考慮して国内物流事業、国際物流事業、旅行業及びその他の事業に区分しております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 国内物流事業・・・自動車運送、倉庫、構内作業他
- (2) 国際物流事業・・・国際一貫輸送、港湾運送、航空貨物輸送、海外物流他
- (3) 旅行業及びその他の事業・・・旅行業、不動産業他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,760	2,646	5,148	55,555	—	55,555
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	875	239	547	1,662	(1,662)	—
計	48,635	2,885	5,696	57,217	(1,662)	55,555
営業利益	1,074	104	332	1,511	11	1,523

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の各区分に属する主な国又は地域
(1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
(2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,341	1,761	2,971	37,075	—	37,075
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	439	109	220	769	(769)	—
計	32,781	1,871	3,192	37,845	(769)	37,075
営業利益又は営業損失(△)	△471	△56	△0	△528	10	△517

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の各区分に属する主な国又は地域
(1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
(2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,824	7,976	11,800
II 連結売上高(百万円)	—	—	55,555
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.88	14.36	21.24

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
 (2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く。)

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,876	4,629	6,506
II 連結売上高(百万円)	—	—	37,075
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.06	12.49	17.55

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
 (2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く。)

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。